

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和1年7月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675100111
法人名	有限会社 フェルナンデス
事業所名	グループホーム ひだまり
所在地	鹿児島県伊佐市菱刈重留1137 (電話) 0995-24-1688
自己評価作成日	令和元年6月10日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和1年7月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者の方の間でそれぞれ役割が自然と決まっており、スタッフは一緒に行い現状や出来る事、楽しめる事を見極めながら、サポートする形で支援するようにしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

伊佐市街地の、近隣にはコンビニエンスストアや郵便局・学校・病院があるが、ホームは幹線道路から少し中に入っている為閑静な住宅地に位置している。
地域とは開設時から十分な交流が図られ、双方の行事に参加したり介護の相談窓口となったり、また防災組織にも配置されており災害時の地域との協力体制は構築されている。
地域密着型サービス事業所として地域住民への周知に努め日常的な交流が図られる関係が築かれ、地域行事への参加、散歩時の挨拶・友人知人の来訪ボランティアの受入れ等も積極的に取り組んでいる。
管理者や職員は、理念に沿っての支援に努めており、誇りや尊厳を大切にしながら利用者の意思を尊重し、心身の状況に配慮したケアに取り組んでいる。
管理者及び職員は、日頃から意見が言い合える関係作りを構築し、業務の中やミーティング時等で意見・要望を出し合いサービスの質の向上に繋げている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	スタッフ間で声を掛けながら振り返り、声掛けしながら取り組んでいる。	理念はリビングやローカに掲示され、年間目標も3カ所に掲示されている。毎月のミーティング時では唱和し共有を図っている。日々のケアの中やミーティング時で振り返りや意見交換を実施して、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	野菜のやり取りがあったり、地域の防災訓練では施設班が来てくださる等、協力体制にある。	自治会に加入し、総会へ出席しホームの説明をする等もある。地区の防災組織にも加入し協力体制を築き、買い物時には地域の住民と挨拶や会話を交わしたり、野菜を提供してもらったり、回覧板による連携、ボランティアの受入れなど交流が図られている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	要望などがあれば対応できるようにしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日常の状況や事例を伝え、意見交換を行っている。	定例化された会議には、行政・地域包括支援センター・民生委員・家族・地域住民が参加し、現状報告の他ヒヤリハット・地域の情報等について意見交換が行われている。出された内容は業務の改善やサービスの向上に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>地域密着の連絡会や運営推進会議を通して関係づくりをしている。</p>	<p>市担当者とは電話や窓口への訪問で各種制度の手続き上の相談を行って助言・対応をもらうなど協力関係を築いている。市主催の会合や研修会にも積極的に参加し、意見や情報の交換を行いホームの運営やサービスの改善に繋げている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束を行わないことを伝え、日々の振り返りを行い確認している。</p>	<p>身体拘束廃止については、法人で3か月毎の定期的な委員会の開催やミーティング等で意見交換を行い、また研修も計画的に実施し職員の理解を深め拘束のない支援に取り組んでいる。昼間は施錠せず常に寄り添いや見守りに努め、不穏な利用者には、対話や散歩の同行など工夫し安定を図っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>振り返り確認をしながら取り組んでいる。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>地域密着の会で勉強会を行ったが、当施設での事例はない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所時に説明をし、不明なところはないか等の確認を行い、同意を頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会等を利用して意見をもらえるよう努めている。必要に応じて電話をするなど対応している。</p>	<p>利用者の思いや意見は日常の会話やしぐさ見守りなどで理解に努めている。家族からは家族会や面会時・運営推進会議や電話等で意見や要望を把握している。出された意見・要望は申し送りやミーティングで内容を共有しケアに反映させるように取り組んでいる。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>管理者が中心となり、職員からの意見にはその都度耳を傾け、ボトムアップが行われるようにしている。</p>	<p>管理者は日頃から職員が気軽に意見を言いやすい環境作りに努めている。年3回の人事考課や個人面談の実施で、業務改善やサービス向上に繋げている。職場環境や就業条件の改善整備に努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>定期的に考課表を用いた自己評価と所属長評価を行い、多面的かつ適正な条件・環境の整備に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部で行われる研修への参加の機会をもうけたり、働きながら資格取得を目指す職員に対し、資金的な支援も行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域密着型サービス連絡協議会に参加し、保険者や他事業所との協議・情報交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>表情などを見ながら十分にコミュニケーションを取りながら、落ち着いて生活が出来るように心がけている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>希望や意見を聞き、関係を築けるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>希望や意見を聞き、生活環境も踏まえながら話し合い、検討するように心がけている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者間で話をしながら決定されるので、スタッフは実現できるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	現状を伝えたり、情報をいただきながら、今までの関係を続けられるように支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	希望を聞きながら、それぞれ柔軟に対応するように努めている。	利用者毎に生活歴や家庭環境等を把握している。馴染みの美容室には職員が同行している。家族や友人知人の訪問時には話しやすい雰囲気作りに配慮し、買い物や一時帰宅・外食・墓参り等を家族と協力して支援している。年賀状を書かれる方や携帯電話を使用される方もあり、職員は利用者の状況に応じた取り組みを工夫して、関係の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者間で話し合ったり、助け合いながら生活している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	それぞれの希望や思いを聞き、利用者本位で暮らせるように心がけている。	日頃から利用者との会話や生活の中で思いを感じ取り「ご利用者の意向・思いの把握」シートを使っている。職員はミーティングで話しあったり、申し送り時に情報の共有に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族などの話から把握するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	それぞれの状態や状況に応じて、スタッフ間で共有しながら把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日常の中での希望等を聞き取り、ミーティングを意見を出し合っている。	アセスメントで利用者の希望や意向を分析しカンファレンスやミーティング等で情報を共有している。毎月モニタリングを実施し、半年毎に見直しを行っている。意向や状態に変化が見られた場合には、速やかに見直しをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	記録や申し送りを通して、情報の共有を行うようにしている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	それぞれの希望に可能な限り対応できるように努めている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	いろいろな協力体制を頂いている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	それぞれのかかりつけ医を継続している。必要時には専門医へ紹介を受けるなど取り組んでいる。	利用者の病歴等を把握し、本人・家族が希望する医療機関での受診を家族と協力して支援している。定期受診時に変化があれば報告している。訪問診療と訪問看護が実施され、日頃から健康管理を徹底し、協力医療機関との医療連携の体制も構築され、利用者や家族の安心に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	訪問看護を受け、アドバイスや協力を頂いている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	入院時に情報提供書の提出を行い、早めの退院へ協力を頂いている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	段階に応じて説明を行い確認しながら、方向性を協議している。	重度化や終末期のケアに対する指針を整備しており、利用開始時に説明し同意を得ている。看取り期のいろいろな変化の都度、本人や家族がかかりつけ医と話し合い、職員には研修も実施し、ホームとして可能な限り支援対応できる様に取り組んでいる。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	ミーティングやマニュアル等で申し合わせは行っているが、不安な声もあり、検討している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地域での防災訓練に参加して協力体制を築けている。施設内での避難訓練も行っている。</p>	<p>年2回の消防署立ち会いと、自主訓練の他に地域での防災訓練にも参加している。地域では災害時の役割も決まっており、地域との協力関係は出来ている。訓練は火災のみならず地震や水害時の訓練も実施している。スプリンクラー・自動通報装置の設置、また食材や飲料水の備蓄も確保されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	スタッフ間で振り返りや声掛けを、確認を行いながら支援している。	接遇や個人情報保護など、特に言葉遣いの研修の充実を図り、利用者の尊厳やプライドを損ねるような言葉かけや対応の防止に努めている。個人記録や居室の保護にも含め、ケアに反映できるように努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	意志の確認をし、返答を聞きながら自己決定出来るように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	それぞれ本人らしいペースで過ごせるように声を掛けあいながら取り組んでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	それぞれの希望や本人らしさに応じた身だしなみを心がけている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日ではないが、それぞれが出来る事を協力しながら行えることを検討し、実施するように努めている。	包丁で下ごしらえの手伝いをされたり、竹の子の皮むきやツツむきなど力量のある方には手伝いをもらっている。季節の野菜中心にその日の食材で担当者が作っている。法人合同の運動会では手作り弁当、行事食・誕生会ではルクエストメニューとなっている。個別で家族が外食に連れて行く事もある。食事が楽しみなものとなるよう工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	確保できるように声掛けをし、記録と確認を行いながら支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	それぞれに応じて対応している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	それぞれの能力や季節に応じた支援を検討し、行っている。	排泄チェック表や利用者の素振りしぐさから、利用者の排泄パターンを把握し、昼間は可能な限りトイレでの排泄を支援している。利用者の身体状況や習慣等に配慮しながら、介護用品やケアの方法を介護計画に反映させている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄状況の確認を行い、それぞれに応じた支援内容に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	希望や体調に合わせて、意志の確認を行いながら、支援している。	体調を考慮して基本的には週3～4回一人ずつの入浴である。入浴の時間帯や順番にも可能な限り希望に添うように努めている。状態によっては、シャワー浴や清拭・足浴に変えたり、同姓介助の配慮や入浴剤を使用したりとゆったりと安心して楽しめるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室だけではなく、それぞれが安心して過ごせるように取り組んでいる。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	十分な説明を受け、変更時、周知できるように申し送りを行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれの体調や行える事に合わせて一緒に行い支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出の機会が減ってきている。希望時の美容室や買い物などは対応できるように努めている。	利用者の健康状態や天候を見ながら本人の希望に沿って散歩や近所への買い物に出掛けている。年間の外出計画も有り、季節の花見や地域行事や運動会またドライブなどを支援している。家族と一緒に外食や受診・一時帰宅・墓参りなどに出掛ける方もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個人で持っている方については、家族と相談した上で、本人が管理している。殆どの方が家族管理である。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>可能な限りそれぞれに合わせて自由に行えるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の飾りや花などで季節を感じられるように努めている。湿度や温度など、参考表を確認し調整している。</p>	<p>明るく開放的なリビングは清潔感や室温・湿度に配慮されている。季節を感じて過ごせるように、季節の花が飾られ、テーブルソファの配置で家庭的な雰囲気の中でゆっくりとくつろげ、また台所からの調理の音や匂いが伝わり、より家庭的で居心地良く過ごせるよう工夫されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居場所が定着しているが、季節や状況に合わせて対応するように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた家具や本人の希望に合わせて、家族と相談しながら支援している。</p>	<p>家庭同様に落ち着いた暮らしとなる様に、馴染みの家具・タンス・家族写真・位牌・小物等を持ち込み自身の作品も飾る等、その人らしい雰囲気の居室となっている。利用者の意向を確認しながら、整理整頓を日常的に支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>安全には配慮しているが、自立した生活が送れるようにする為には、もう少し検討の必要があるように思う。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない